



◆四月の歳時記◆

「忠犬ハチ公の日」

ハチが待ったのは焼き鳥欲しかった。

4月8日は「忠犬ハチ公の日」だそうです。亡き主人を健気に待ち続ける姿に、日本はもちろん世界の人々をも感動させた秋田犬「ハチ」。米国でも映画化されましたよね。

今回は、その美談を少し斜めから考察してみたいと思います。というのもハチが渋谷駅で待ち続けたのは、駅前の焼き鳥欲しさだったという異論も散見するからです。（死後解剖したハチから焼鳥の串が出てきている）

まずはハチの性格です。利口で凛々しいイメージですが、ハチを新聞で紹介し、一躍ときの（犬）にした斎藤弘氏から、「おとなしいので良い首輪や胴輪をすぐ盗まれたり、荷物室に入り込んで駅員に叩かれたり、またある時など、墨で眼鏡とハの字ひげをつけられたハチが、駅員室から悠々と出て来たのに失笑してしまっただけ。夜は露店の親父に追われたり、まるで喪家の犬の哀れな感じであった」とあります。忠犬として報道された後の人々の手のひら返しに、ハチが一番困惑したかも知れません。あまりの過熱ぶりに『焼鳥説』などの異論が出るのも頷けます。「エサを与えてないから」などと矛先は未亡人にも及びますが、一番身近でハチを見ていた夫人の言葉が一番ハチと上野教授の関係性を物語っているような気がします。

上野八重子「忠犬ハチ公を悼む」「ハチ公の思い出」より抜粋

「一番深く印象に残ったハチは主人の亡くなった時のしよげ方でした。主人の夜具を物置へ運ぶとハチも夜具を慕って物置へ入ってしまい、どうしても出て来ないので。布団を懐かしがるハチの姿は本当に哀れでした。初七日、通夜を営んでいる時、庭をシヨンポリ歩いてきたハチが急に縁側のガラス戸を押しあけ、座敷へスタスタ上って参りました。そして棺の方へ歩いて行ったかと思うと、棺を安置した台の下へドシドシ這入り込んで行くのです。ハチはそこで肢を伸ばして腹這いとなり、さも安住の地でも見出したかの様にグツタリ首うなだれ、呼ばうが追おうが、どうしても棺の下から出て来ないので。こうして一晩ハチは頑張っていました。その根強い思慕の情には、誰も彼も思わず泣かされてしまいました。「ハチは主人の死後3日間も食事をとらなかったといひます。のちに「忠義」と結び付けられ祭り上げられたハチ。でも原点は主人と犬との純粋な愛情物語ですよな。」



ハチ

シニア世代のJR尼崎を
自画自賛

「住みたい街ランキング」が新聞やネットを賑わせていますが、我が街、JR尼崎周辺もランキングに頻りに登場するようになりました。「穴場だと思ふ駅ランキング」で3年連続1位！「本当に住みやすい街大賞」でも1位を獲得！その紹介文には「再開発が進み大きく変貌！アクセス至便でコスパニ重丸！」という文言が踊っています。確かに尼崎駅北側の近未来的な風景はJR神戸線の中でも群を抜いています。

また住みやすさは、世代でも大きく変わるはずで、たとえば独身は梅田など大都市エリア、子育て世代は公園や教育環境の整ったエリアに人気が集まるのは当然です。ではパストラル尼崎の皆さまにとって、JR尼崎はどうでしょうか？京阪神はもとより日本海側にも直結し、大阪へ5分、神戸まで15分、京都まで36分、関空へもバスで直行！という抜群の利便性は、ほぼ大阪駅（笑）旅好きにはたまりませんよね。また芸術鑑賞や野球観戦（特に阪神ファン）、大学で学びたい方はもちろん梅田のデパートへも、「ドアtoドア」で約10分。いずれも気軽にいける庭のような環境は、引きこもる要素が少なく脳の活性化にも大いに影響しているはず。皆さまの前向きな姿勢とセンスの良さ、若さにもきっと影響しているのかもしれない。



第2弾「わたしたちの白地図」
～わたしが旅した場所～

大好評だった『わたしたちの白地図』の第2弾「わたしが旅した場所」が3月中旬に行われました。第1弾の居住した場所をはるかに超えるマグネットを用意し、（百均のマグネットを買占めて準備）戦々恐々として迎えた当日。ロビーに巨大日本地図と世界地図が再登場するやいなや、豆まきの豆のように両手に豆？いやマグネットを握りしめ、地図上の旅した場所に猛烈な勢いでバンバン貼りつけていく皆さま。そして、地図の前では、そこかしこで「旅談義」に花が咲くという何とも賑やかな光景。「地図って見てるだけで楽しいね～」「私、岬とか先っぽに行くのが好きなの」「私は小さな島が好き」「地球儀買おうかな～」など楽しい会話を「ホーホー」と興味津々で聞きながら、ふと用意したマグネットを見るとその数『0』。（参加者もまだ数人なのに・・・泣）地図を見ると北海道の先っぽの島から南の沖縄までピシッとマグネットが……。また世界地図も同様で、想像をはるかに超える皆さまの旅の足跡に、甘く数をよんでいた未熟さに撃沈！泣 結果、何度もマグネットをはずし白紙状態にしてから再度やり直すこと5回。使用したマグネットの数、のべ1160個。（まだ継続中です。汗）パストラル尼崎の皆さまの「何でもやってみよう精神」のルーツここにあり！